

日本モデルリスト協会

2012年度技術研修会のお知らせ

●後援・経済産業省

PART-1 薄地素材に対する可縫性の研究

発表 文化ファッション大学院大学ファッションテクノロジーコース

衣服の軽量化が進化した今日、縫製工場では薄地素材、薄地高密度素材による縫製トラブルが多く発生しています。文化ファッション大学院大学ファッションテクノロジーコースでは「作業者個人のスキルに関わらず縫製条件の設定のシステム化により一定の縫製レベルを保つ」ことを目的として、シームパッカリングに対応した縫製条件のシステム化について産学協同研究を行い、縫い目バランスの良い縫製条件の法則性を確認しました。その後、様々なキャリアを持つ人たちの作品製作を通して縫製条件の検証と、産学協同研究により開発された縫製糸「エースクラウンハイパーソフト」の評価を行いました。そうした一連の研究・検証過程を発表します。



PART-2 「あなたのパターンは大丈夫?!」

工場における工業パターン化の実際

発表 神長栄 (モデルリスト/協会運営委員)

白石正裕 (ファッションしらいし社長/協会運営委員)

柴山登光 (サン・モードスタジオ社長/協会副会長)

アパレルメーカーと工場は密接な関係にありながら、理解し合えていないことが多々あります。アパレルの企画が遅れ、それがパターンメーカーにしわ寄せとなり、パターンマークに十分な時間が取れず、検証ができないまま工場にパターンが投入されます。

工場では、さらに生地や副資材の投入が遅れ、しかし納期は変わらず、少ない日数で生産し、納品すると製品の出来が悪いと言われます。また品質への要求は高いが、一方で工賃の値下げを求めるなど、このままメーカーサイドの改善がなされなければ、工場は疲弊するばかりです。工場も固有技術を持っています。もっと技術者同士が情報を公開すべきではないでしょうか？

今回、ジャケットを題材にして「つれ」や「だれ」などを防ぎず法通り、身頃と見返し等の表裏の関係などバランスの良い服作りをするための工業パターン作りの基本と応用、更にパターン自体の問題等々を幅広く具体的な事例に沿ってご紹介致します。

●日時

平成24年11月17日(土)

13:00~17:00 技術研修会

17:10~19:00 懇親パーティー

●会場

杉野学園 杉野ホール

(懇親パーティーは学生食堂)

●参加費

正会員 ¥8,000 一般 ¥10,000

協力会員 ¥8,000 学生 ¥3,000

(学生会費は懇親会費を含まず)

申込書

FAX.No 03-5261-7075

切り取らずにFAXしてください

□にチェックをいれてください。

研修会参加 住所 〒

研修会不参加 TEL

懇親会参加 氏名 FAX

懇親会不参加 所属企業名等

※学生の方は「学生」と明記の上、学校名を書いてください。

●準備の都合により11月9日(金)迄に返信をお願い致します。